

道

2018・10・24

通信 No 1508



《今日の練習曲》

1部 中山先生・二宮先生

ポーリュシカ・ポーレ

ブオルガ悲歌、はてもなき荒れ野原

《次回の練習曲》

10/31 (水) 3部

6:45~7:45 ヴォイトレ(梅崎先生)

8:00~8:45 中山先生

二宮先生

《ポーリュシカ・ポーレ》

日本でも「うたごえ」などでヒットした曲。ポーリュシカ・ポーレは野原を意味し、言葉を重ねることで想いを伝えています。1934年の作品ですが、歌詞の内容は、1917年~1922年の国内戦争を歌ったものです。軽快なリズムに乗って若者たちは出発します。

ヴィクトル・グーセフ作詞、レフ・クニツェル作曲。クリメント・ヴォロシーロフに献呈された『交響曲第4番《コムソモール戦士の詩》』の第1楽章の第2主題がのちに独立して**軍歌**として歌われるようになった。直訳すれば「愛しき草原よ草原」と言った意味。

1918年(大正7年) ■米騒動

●1923年(大正12年) ■関東大震災

●1928年(昭和3年) ■初の普通選挙実施

●1932年(昭和7年) ■五・一五事件

●1934年(昭和9年) ポーリュシカ・ポーレ制作される

●1936年(昭和11年) ■二・二六事件

●1941年(昭和16年) ■対英米宣戦布告

●1945年(昭和20年) ■ポツダム宣言受諾

●1946年(昭和21年) ■日本国憲法公布

●1951年(昭和26年) ■サンフランシスコ講和条約

●1953年(昭和28年) ■テレビ放送開始

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

この曲が制作された年は1934年=昭和9年。昭和9年生まれの人は今年で85歳。85年前に作られた曲です。威勢のよい曲。

そういえばハバロフスクに行った時、戦勝記念日にぶつかりアムール川の傍の公園で流れていたことを思い出しました。(朝倉き)

今日の片づけは
ソプラノとバス

今後の会議予定 10月31日(水) 4時00分~

チラシ、プログラム委員会

11月7日(水) 2時30分~

運営委員会 於サポートセンター